

【補助事業概要の広報資料】

整理番号 25-68
補助事業名 平成25年度 自動車産業の構造変化が部品企業に与える影響に関する
調査研究補助事業
補助事業者名 一般財団法人機械振興協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

本事業は、グローバル競争が激化する自動車産業に着目し、企業の戦略変化が国内自動車産業構造に影響するという仮説に立ち、展開したものである。本事業では、特に完成車メーカーによる製品開発戦略が大きく変化しつつある現状に着目し、この戦略変化において先行するドイツ完成車メーカーに注目し、ドイツの中堅・中小企業も含めた自動車産業構造と日本のそれとの比較分析を通じて、自動車部品サプライヤー構造の質的・量的変化の方向性について検討を加えた。さらに、このような変化に対して、今後、中堅・中小企業はどのような適応戦略を準備しておく必要があるのかといった課題について、自動車メーカーの実務経験者、自動車産業研究者及び関連工業団体の専門家等で構成される調査研究委員会を設置し検討を行うと共に、同協会経済研究所研究員による提言を行うことを目的としたものである。

(2) 実施内容

① 自動車産業の構造変化が部品企業に与える影響に関する調査

[自動車産業の構造変化が部品企業に与える影響に関する調査研究](http://www.jspmi.or.jp/system/l_cont.php?ctid=120205&rid=1137)

(http://www.jspmi.or.jp/system/l_cont.php?ctid=120205&rid=1137)

本調査においては、国内・海外完成車メーカーによる新たな製品開発アプローチが展開する中で、関連部品サプライヤーと完成車メーカーとの取引関係がどのように設定されていくのか、その状況把握に努めた。加えて、取引関係の変化から、今後の国内自動車産業構造の変化も予測しつつ、想定される課題抽出と対応への示唆を検討した。

2 予想される事業実施効果

本調査研究は、完成車メーカーによる製品開発戦略の変化がどのように部品サプライヤーに影響を及ぼすかに着目したものである。完成車メーカーごとの戦略変化に注目した報道等は多く見受けられるものの、自動車産業の視点から関連サプライヤーへの影響に照準を合わせた調査事業は他例がなく、報告書等へのアクセスが増えるものと想定される。中でも、本調査ではメーカー別、または部品サプライヤーも含めたヒアリング調査を展開していること

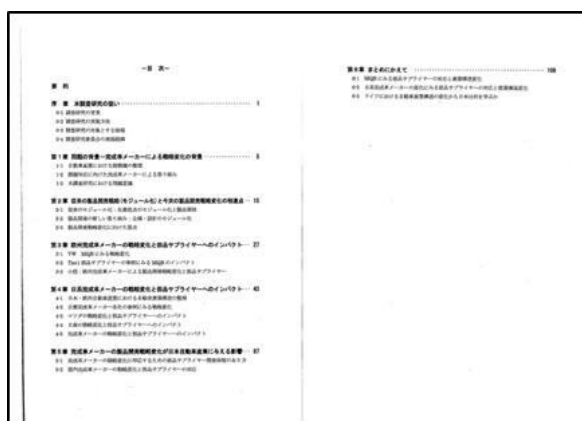
から、系列の色が濃い国内自動車産業にとっては他企業の戦略、動向を参照する報告書として活用されるものと想定される。

また、中小企業を含む部品サプライヤーにとっては、従来、完成車メーカーなど川上企業の動向はほとんど把握されてこなかったところ、本報告を参照する結果として、国内自動車産業が大きく変化しつつあることへの注意喚起を促し、今後の自社戦略策定において活用されることが期待される。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

報告書『自動車産業の構造変化と部品企業への影響』



報告会テキスト・パンフレット(埼玉県浦和市)



4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 一般財団法人 機械振興協会

(イッパンザイダンホウジン キカイシンコウキョウカイ)

住所： 〒105-0011(半角)

東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

代表者： 会長 庄山 悦彦（ショウヤマ エツヒコ）

担当部署： 経済研究所 調査研究部（ケイザイケンキュウシヨ チョウサケンキュウブ）

担当者名： 研究副主幹 太田 志乃（ケンキュウフクシュカン オオタシノ）

電話番号： 03-3434-8251（半角）

F A X : 03-3434-3696（半角）

E-mail : kikaku@eri.jspmi.or.jp

U R L : http://www.jspmi.or.jp/system/top_all.php